

ひとり親家庭の子どもの教育支援に児童扶養手当が果たす役割

県立広島大学 田中 聡子 (6789)

権 順浩 (龍谷大学研究生・6852)

キーワード：児童扶養手当，経済支援，教育支援

1. 研究目的

本研究の目的は、ひとり親家庭の生活実態を把握し、児童扶養手当が子どもの健全育成、特に教育支援として果たす役割について考察する。

ひとり親家庭の収入が低く、生活状況が厳しいことは、「全国母子世帯等調査」の報告や先行研究によって明らかになっている。世帯の平均年収は一般世帯を100とした場合に「2006年度全国母子世帯等調査」で37.8%、2011年度全国母子世帯等調査（以下「2011年度調査」という）で44.2%（2011年度は世帯全体の収入と比較している）であり、1/2にも満たない。こうした状況にあるひとり親家庭への生計、生活の安定のため、経済的支援として児童扶養手当が位置づけられている。ひとり親家庭とは、子どもを養育する家庭である。少ない収入であっても、子どもが学校や学校外の教育活動に参加でき、健やかに成長することが課題となる。そこで、ひとり親家庭の子育ての状況や母親の生活上のニーズを把握し、なぜそのように母親が考えるのかについて、児童扶養手当から考察する。

2. 研究の視点および方法

（研究の視点）研究の視点は以下のとおりである。児童扶養手当法の趣旨である「児童の心身の健やかな成長に寄与することを趣旨として支給されるもの」（児童扶養手当法第2条）が反映されるためには、子どもが成長するまでの間、健康と教育への支援が不可欠と考える。しかしながら、実際は、稼働収入に児童扶養手当を加えて、当面の生計が維持できているのが現状であり、子どもの希望する進路のために十分に備えているとは言い難い。そこで、母親の子どもの進路や教育に対するニーズを把握し、児童扶養手当が子どもの健やかな成長へ寄与するための課題について考える。

（研究の方法）

2013年1月に実施した当事者団体であるA団体との共同調査「児童扶養手当に関するアンケート調査」（以下「アンケート調査」という）の結果及び、厚生労働省「全国母子世帯等調査報告書」を用いる。アンケートの分析はエクセル統計、SPSS Statistics19を使用した。

3. 倫理的配慮

本研究は、社団法人日本社会福祉学会が定めている研究倫理指針を厳守している。

アンケート調査は無記名とし、個人が特定されないように配慮した。配布、回収等の作業はA団体の協力によって実施した。

4. 研究結果

「2011年度調査」、「アンケート調査」においても、離別母子の割合、就業率が高く、働いているが収入が少ないという実態がある。アンケート調査の回答者の8割は児童扶養手当を受給している。勤続年数が、10年以上15年未満の人の約8割、15年以上でも6割以上が受給している。勤続年数が長くても、児童扶養手当を高い割合で受給している。長く働いても児童扶養手当の所得制限額限度額を超えない働き方をしていることが推察される。また、ひとり親家庭になってからの子育ての困りごとは教育費の負担、子どもの進路の順になっている。教育費の負担は給食費や学用品等の日常的な負担と将来の進学のための負担があり、どちらの負担も課題となっている。母親が児童扶養手当を充当していると考えている支出項目は教育費、被服費、私的保険の順になっている。子どもに関する最終進学目標は高校以上の教育機関（大学、短期大学、専門学校等）までを考えているのが「2011年度調査」では6割以上、「アンケート調査」では、7割以上である。多くの母親は大学進学までを考えている。自由記述では、児童扶養手当が18歳までの支給であること、大学進学のための費用負担への不安が記載された。進学費用は奨学金等の借入金、子どものアルバイトの回答が多い。進学させてやりたいが費用負担をどうするかがひとり親家庭のニーズであると言える。

5. 考察

ひとり親家庭の収入が、就労形態によって勤続年数が長くても増加しないこと、また子どもの成長に伴い教育費が増加することによって母親へ精神的、経済的な負担増になる。児童扶養手当は家計補助の役割を担っているが、母親は教育費にできるだけ充当したいと考えている。児童扶養手当は離婚直後の生活の激変を緩和するため期間を定めて集中的に支援するというのではなく、長期の教育費を中心とした経済支援の役割を担っている。また、18歳までの支給であり進学する家庭は、世帯の収入の減少と進学費用の負担という二重の負担になる。結果的に奨学金や母子寡婦福祉資金等の借入金と子どものアルバイトを充てにしないといけないことになっている。母親が子どもの進路や将来を考えた時、負担や不安ではなく、希望になるには、日々の家計の補助的役割だけでなく、安心して大学進学を目指すことができる経済的支援が必要であると考えられる。